

# 乳兒生齒期の注意

女醫 竹 内 茂 代

赤んぼに初めて歯が生える時期、即ち第一期生齒期と申しますのは、生理學の上では生後七ヶ月としてありますが、赤んぼによつて一人／＼異つてゐまして、生後四ヶ月にもう生え始めるのもあれば、一年二三ヶ月になつてやつと生えるのもあります。生齒期の早いものは、歯が弱いのが多うございます。

それは、顎骨の中で歯の芽が充分成熟しないうちに、早く外に生てしまうからでございます。歯の芽が充分に發育してから生えたものは、丈夫な歯になります。

赤んぼが生齒期に入りますと、必ず多少の生齒障礙を身體に起します。この症狀を一寸述べて見ます。

## 1、消化不良

よく乳兒は生齒期に消化不良に陥ります。先づ青便が出たり、便と水分とが分れて、ちようど卵の半煮をはなしたやうな便が出たり、或ひは粘液が便に混じたり、白色の乳のかたまり其儘の便が出たりし

ます。そのほか、赤んぼは屢々乳を吐きます。又非常に機嫌が悪くなりますので、母親は手にあまして、つひ乳をやり過ぎますので、ますます消化不良を悪くする事になります。時としては、消化不良に熱を伴ふ事もあります。

## 2、氣管枝カタル

また生齒期の赤んぼは、氣管枝カタルに罹ります。咳や痰が出て、聲が加れてしまひます。これも前の消化不良の場合と同じに、熱を伴ふ事もあります。

## 3、神經症狀

次に、生齒期の赤んぼには、晝夜眠らずに泣き騒ぐ事があります。之は醫學の方で云へば、興奮状態に入つたといふものでありまして、赤んぼは痲癩を起し、何にでも直ぐ驚き、一寸した物音にでも、光にでも、感じ易くなります。

## 4、發熱

生齒期には、何だかわけのわからぬ熱が出て、長

い間、その熱が出たり、ひつこんだりして居りますので、お母さん達は驚いて、私どもの所へいらつしやる方も多うございます。

先づ、こんなのが、生齒期の赤んぼに起る生理的障碍であります。この状態が、一週間から二ヶ月も続き、時としては重篤に陥ることもありますし、或は風邪でも引いたのだらうと思つてゐる中に治つてしまふ程、軽いのもあります。今申上げた色々の症状を、皆合せて表はれてくる時もありますし、又其の中のどれか一つが現はれる時もあります。他の病氣と異なる點は、齒が外に顔を出しさへすれば、急によくなる、といふ所でございます。例へば、消化不良のやうなのは、他の場合ですと、可成り長びいて中々治り難いものでありますが、生齒期の消化不良ですと、齒がはえてしまふと、からりと治るのでございます。

それでは、赤んぼの生齒期に起るこのやうな身體上の障碍に對して、お母さん方はどう手當をしてよいかと申しますに、一般の病氣と同じ手當をするより外はないのでございます。

消化不良の場合でしたら、出来るだけお乳を制限

し、規則正しく與へる事が必要であります。生齒期になると、赤んぼは、身體の具合が悪いので、さかく機嫌もわるうございますから、お母さん達は、赤んぼのお守に困り果て、泣いたと云つては、つひお乳を飲ませ、むづかつたと云つては、つひまたお乳をやるといふ風になり易うございますから、この點をよくお氣をつけて頂きたうございます。

氣管枝カタルの場合には、咳、痰の出る時は、吸入、濕布をし、暖い室に居らせるやうにした方がよくあります。

神經興奮に陥つた時は、安靜にしておく方が一番よろしく、夜は電燈を暗くして、物音のない室に寝せるやうにします。餘り興奮状態がはげしい時には、醫師に診察して貰つて、臭素劑でも薬にもらつた方がようございます。

發熱の場合も、餘り程度がはげしかつたら、是非醫師に診察して貰つた方が、安心であります。

お母さん達は、可愛い、我子の身體のことゝなれば、直ぐ心配なすつて。醫師のもとに走つて來られますが、これが一番よろしいので、なゝに、この位等と云つてゐるのは、一番悪いのでございます。赤

んぼの下顎を撫で、見て、堅くなつてゐる時分に、赤んぼはブー／＼云つて唾液を口から出してゐますのは、齒が生える時分で顎がいら／＼して氣持ちが悪いから、かうしてゐるのであります。お母さん方は、この様を見たら、もう生齒期に入るのだ、生齒期の障病が起つて来る所だ、と早く承知して、手當をあやまらぬやうにて、醫師と相談して、生齒期障病の豫防をしなければなりません。生齒期に於ける身體上の故障は、前に述べましたやうに、齒が生えてしまへば治るものでありまして、これで以て死亡するやうな事は殆んどありませんが、たま／＼母親の不注意から重症に陥らせて、愛らしい赤ちやんを失うてしまふ事がありますから、生齒期の障病だからとて、等閑にすべきものでもございませぬ。

私は、健康な赤んぼに對して、「よく飲み、よく眠り、機嫌よく／＼、この三つを格言として居ります。お母さんのお乳をよく飲んで、夜は泣かずに眠り、晝は機嫌よく／＼して遊んでゐる赤んぼは、皆健康な赤んぼであります。この三つの中どれか一つでも缺いてゐましたら、その赤んぼは、身體に變調を起して居るのでございます。よくお乳を飲まない

とか、夜は眠らないとか、晝はむづかるとか云ふ時は、お母さん方の注意すべき時でありまして、生齒期の赤んぼは、この三つが缺けて居るのでございませぬ。健康な赤んぼを表すモットーとして、「よく飲み、よく眠り、機嫌よく、」をもう一度申上げて置きます。

#### ○机邊より

……人類の生活が、つゞく限り悲しみは、つゞくに違ひない。人類の生活が、つゞく限り、人生には喜びがあるにちがひない。しかし同時に人生には無限に涙が流るゝにちがひない。畢竟人生は喜びの中の涙であり、涙の中の喜びであるとも言へよう。

ほんとうに人生の喜びを噛みしめてみれば、そこに無限な人生の光りや、意義が潜んでゐることを知るであらう。

同様に、ほんとうに人生の悲しみを噛みしむれば、そこから無限な人生の香味といふものを味識することが出来るであらう。

私たちの感情を動かして人生の諸相に打つ突かつて行けば、喜びか、また悲しみかこの二つの氣分の何れかが、私たちの生活面をいつも掩ふことになる。……（「小鳥の來る日」より）